

科目番号	1501	領域区分	看護実践開発学領域	
学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
1・2	前期	必修	2	30
授業科目名 (英文)	看護実践開発特論Ⅰ【看護実践構築論】 ( Clinical Nursing Practice Development I : Theory in Development of Fundamental Nursing and Practice )			
担当教員名	横山 美樹／秋山 美紀／蓮井 貴子			
授業の概要及び到達目標				
<p>本科目では、看護実践とは何か、ならびに、既存の看護実践の再検証、新たな看護を創出する看護実践方法論の基盤となる理論を概観する。また、自らの実践事例検討を活用し、実践の可視化・理論化・標準化を通して、看護実践の本質を捉えなおすとともに、看護実践を「開発すること」の意味および依拠する哲学、倫理的視座を探究する。</p>				
準備学習等				
<p>本科目では、院生のこれまでの「実践事例」を題材として学んでいくスタイルをとるため、以下の準備学習が必要となる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. これまでの自分の実践事例を選択し、指定された様式に沿って記述すること。 (2回目の授業までに)</li> <li>2. テーマごとに、教員からの説明・講義後に院生のプレゼンテーション、それに関するディスカッション形式での授業となるため、あらかじめ提示されるテーマごとの事前課題に取り組み、授業に出席すること。</li> </ol>				
成績評価の方法	グループディスカッション時の発表資料 (30%)、ディスカッションへの参加 (30%)、最終課題レポート(40%)によって評価する。			
テキスト	「看護理論家の業績と理論評価」、(筒井真優美編、医学書院、2015)			
参考図書	授業内で提示する。			

<p>備 考</p>	<p>○本科目は、次以降に続く看護実践開発特論Ⅱ～の基礎となる科目である。</p> <p>○オフィスアワー：担当教員のメールに連絡の上アポイントメントを取って下さい。</p> <p>○学生の課題レポートに対するフィードバックは、各回、プレゼンテーション後のディスカッション時に、教員から行う。</p>
<p>授 業 計 画</p>	
<p>第1回：オリエンテーション、今後の課題説明（全担当者） 看護理論、哲学的背景（横山 美樹）</p> <p>第2回：看護実践方法論の基盤としての理論の理解① 事例についての説明、理論選択について（横山 美樹）</p> <p>第3回：看護実践方法論の基盤としての理論の理解② ディスカッションに向けての準備、教員への質問（横山 美樹）</p> <p>第4～5回：看護実践方法論の基盤としての理論の理解③ 学生の実践事例に関連した理論についてのディスカッション（横山 美樹）</p> <p>第6回：実践の可視化・理論化・標準化① 大学院でのレポートの書き方、アカデミックスキルに関して等（秋山 美紀）</p> <p>第7回：実践の可視化・理論化・標準化② 実践事例に関連する各種の援助方法、プログラムについての基本的知識（秋山 美紀）</p> <p>第8～10回：実践の可視化・理論化・標準化③ 学生の実践事例に関する各種の援助方法、プログラムに関する研究論文の精読、 自らの経験に照らしての批判的吟味（グループディスカッション）（秋山 美紀）</p> <p>第11回：看護実践における倫理的視座① これまでの学びの振り返り、倫理的側面に関する基本的知識（蓮井 貴子）</p> <p>第12回：看護実践における倫理的視座② 最終プレゼンテーションに向けての準備、教員への質問（蓮井 貴子）</p> <p>第13～15回：看護実践における倫理的視座③ 自らの実践事例の看護について、これまでの学びを踏まえた評価と具体的な 改善点について（グループディスカッション）（蓮井 貴子、全担当者）</p>	